

1 国語に関する調査

【特長】

- ・話し手の考え方と比較しながら、自分の考え方をまとめることができている。これは、様々な教科での学び合いを通じて友達と話し合う活動を繰り返し行った成果であると考えられる。
- ・時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができるかを問う問題の正答率が高い。文章構成の理解や文脈を読む力が身に付いている児童が多いことが分かる。

【課題】

- ・文章の中で意味を考えながら漢字を選ぶことに課題が見られる。単に漢字が書けるだけでなく、文脈の中で漢字を使い分けられるようになることが重要であるため、同音異義語を比較しながら、実際の文や会話の中での使い方に着目した指導をしていく。
- ・目的に応じて情報を適切に選択する力について課題が見られる。全ての教科で何のために調べるのか、どんな資料がふさわしいのかを明確にする取り組みを充実させる必要がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・角を作る2つの辺を延長した図形において、辺の長さと角の大きさは無関係であることを理解している児童が多い。図形の構造を捉える力や、角度の性質についての理解が十分に育っていることが分かる。
- ・日常生活の問題を解決するために、伴って変わるべき二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見出すことができている児童が多い。日常生活と結びつけて、問題を捉えることができたと考えられる。

【課題】

- ・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題が見られる。1を区切る単位分数の長さを実際に指でなぞったり、線を引いたりするなど、数直線を用いて目盛りが表す数を分数で表す活動が必要である。
- ・分数の加法において、共通する単位分数を見出し、数や言葉を用いて記述することに課題が見られる。自分の考え方を説明する経験を重ねることで、考え方を整理し、筋道を立てて表現する力を育していくことが必要である。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・課題を解決するために実験の方法を発想し、表現することに関わる問題の正答率が比較的高い。

【課題】

- ・条件による差異点や共通点を基に、新たな問題を見出し表現することに課題が見られた。他者の気付きの視点で分析をして、解釈し、自分の考え方をもつような場面を設けていく必要がある。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると答えた児童が多い。学び合いを通じて友達と交流し、課題の解決に取り組むことができているからだと考えられる。
- ・学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると答えた児童が多い。クラス目標について毎月振り返り、自分たちで改善方法を考えしていく活動に取り組んだ成果だと考えられる。

【課題】

- ・5年生になるまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたかという質問に対し、ほぼ毎日と答えた児童が少ない。1年生から6年生まで系統立ててICT機器を使用していくことが必要である。
- ・自分には、よいところがあると思いますかという質問に対し、当てはまると答えた児童が少ない。できしたことや認められたこと、役に立てたという経験を日々の生活の中で積み重ねていくことが必要である。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・漢字の学習において、書くだけではなく文脈の中で漢字を使い分けられるよう、同音異義語を意識した授業展開をしていく。
- ・ICT機器については、教師が有効に利用することができるよう関係機関と連携をして、校内研修の充実を図り、効果的に活用した授業に取り組んでいく。
- ・話す聴くの系統表を活用した話し合い活動を多く取り入れ、自分事として考えたり、友達の意見と比べたりする経験をさせる。
- ・授業で学んだことを他教科や実生活と結び付けて生かせるような授業展開を行う必要がある。そのために、学びの振り返りやまとめの時間の工夫、実生活に根ざした題材や課題の設定、教科横断的なカリキュラム作成を行っていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・ご家庭で、PCやタブレットなどのICT機器を、学習のために使用する児童が少ないようです。学力の定着のために、学習でも適切にICT機器を活用する習慣が身につくようご家庭でのご協力をお願いいたします。
- ・児童が読書に進んで取り組めるよう、図書館に行ったり、デジタル図書館を活用したりすることを通して、読み聞かせや親子で一緒に読書する時間の充実をお願いします。
- ・地域の行事を楽しみにしている児童が多く見られます。地域の行事は、児童にとって視野を広げるよい機会になります。今後も、地域の多くの方に積極的に参加していただきたいです。